

都民及び区市町村からの意見の反映

本計画の策定にあたっては、都市づくりの実効性を高め、都民や企業の皆様、区市町村等の幅広い関係者が、世代を超えて内容を共有できるものとするため、都市づくりのランドデザイン(素案)を平成29年5月19日に公表し、都民や区市町村へ意見募集等を実施しました。

(1) 都民からの意見

① パブリックコメントによる意見募集

実施期間：平成29年5月19日から6月19日まで
内 容：「都市づくりのランドデザイン(素案)」について、広く都民や企業の皆様からの意見等を募集
受付数等：52通(うち個人30通・団体22通) 意見総数：294件

② 都立高校への出前授業等

実施期間：平成29年5月25日から6月16日まで
内 容：2040年代の社会の中核を担う世代の意見を反映するため、都立高校へ東京都職員が出向き、「都市づくりのランドデザイン(素案)」を教材として、生徒が将来の都市づくりについて考える「出前授業」を実施
また、高等部のある特別支援学校において、生徒会の生徒等から意見を募集
実施校数：都立高校12校(155人)、特別支援学校5校(46人)

○皆様から頂いたご意見は、都市整備局ホームページで公表しています。

http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/keikaku_chousa_singikai/keikaku.html

(2) 区市町村からの意見

実施期間：平成29年5月19日から6月19日まで
内 容：都内全区市町村(62団体)に対して、「都市づくりのランドデザイン(素案)」の説明会を開催し、意見照会を実施
受付数等：39区市町 意見総数：388件

(3) 都民及び区市町村からの主な意見

○各章に対する意見等

| 意見・アイデアの概要 | | 計画への反映箇所 |
|--|---|----------|
| 第2章「2040年代の社会状況や都民の活動イメージ」について | | |
| ライフスタイルにシェアリングの考え方が浸透してモノや空間、時間を効率的に活用している社会となっていてほしい。 | 多様なライフスタイルを選択 (P.15) | |
| 公園をサード・プレイスとして活用できるよう居心地の良い空間にしてほしい。 | | |
| 第4章「目指すべき新しい都市像」について | | |
| 市街地でも新しく水・緑の空間を創出し活用してほしい。 | 地域的なレベルの都市構造 (P.30) | |
| 新都市生活創造域に残る、屋敷林や樹林地などの良好な緑の空間を将来にわたって保全してほしい。 | 新たな地域区分 (P.38) | |
| 第5章「都市づくりの戦略と具体的な取組」について | | |
| 東京らしさのイメージを事例写真やパースで伝えてほしい。 | 都市の将来イメージ (P.44) など | |
| 「都市づくりの7つの戦略」(素案P.36)等に記載の「都市のイメージの一端」の記述を充実してほしい。 | | |
| 目標数値の設定について、極力検討してほしい。 | 都市づくりの挑戦 (P.72) | |
| 戦略01 圏央道沿線に大規模かつ高機能な物流拠点の整備をしてほしい。 | 多摩地域の道路・交通ネットワークを強化し、拠点間の連携を促進する (P.81) | |
| 戦略02 災害時のリダンダンシー確保に向けた道路整備を進めてほしい。 | 道路ネットワークの形成により経路選択の自由度を高める (P.86) | |
| 地区内道路をゆとりやにぎわいの場として活用するためにも無電柱化を進めてほしい。 | 地区内道路をゆとりやにぎわいの場として活用する (P.89) | |
| 自動運転やパーソナルモビリティなどの新技術による新しい交通手段を取り入れてほしい。 | 多様な交通モードにより自由自在な移動を実現する (P.95) | |
| 自転車の駐輪場の整備を進めてほしい。 | | |
| 戦略03 発災直後の物資等の輸送に海上輸送を活用してほしい。 | 復興の目標を明確にし、平時の都市づくりに生かす (P.106) | |
| 災害対応の更なる強 ^{じん} 韌化につながる、水蓄熱槽の設置を進めてほしい。 | | |
| 災害に備えた各戸のレジリエンス対応を進めてほしい。 | | |
| 家庭用燃料電池の普及・拡大を進めてほしい。 | | |

| 意見・アイデアの概要 | | 計画への反映箇所 |
|-----------------------|--|--|
| 戦略03 | 災害時でも都市活動を継続できるように、広域防災拠点へのアクセス性を向上してほしい。 | 復興の目標を明確にし、平時の都市づくりに生かす (P.106) |
| | ドローンの活用について検討を進めてほしい。 | ICTを活用したデータ管理で、被災しても復元できる情報を蓄える (P.107) |
| 戦略04 | 子育て支援はこれからを担う人材を育成するためにも取組を進めてほしい。 | 高齢者や障害者が安心していきいき暮らせる環境をつくる (P.117) |
| | 地域包括ケアシステムの効率化・高質化に向けた取組を官民連携で進めてほしい。 | |
| 戦略05 | 空き家対策を進めてほしい。 | 空き家を活用して多くの人が交流する機会を生み出す (P.128) |
| 戦略06 | 在来種植栽の推進とともに、既存の樹木を生かした開発誘導を進めてほしい。 | 貴重な緑を守り、活発な都市活動と豊かな生態系を両立する (P.131) |
| | 河川沿いの緑をま ^と ちに ^と 融け込ませるように誘導してほしい。 | 水辺に顔を向けたまちづくりを推進する (P.138) |
| 戦略07 | 普段使用する駅や歩道でも芸術に親しめるようにしてほしい。 | 文化・芸術やにぎわいの場を都市の中に生み出す (P.143) |
| | オリンピック・パラリンピックのレガシーとして芸術・文化も取り上げてほしい。 | |
| | 芸術・文化の要素として、サブカルチャーやデザイン・ファッション、伝統工芸なども取り上げてほしい。 | 都市の多様なストックを観光資源としてフル活用する (P.146) |
| | 大会後の選手村まちづくりについて記載してほしい。 | 臨海部を新たな一大スポーツゾーンにする (P.151) |
| 第6章「個別の拠点や地域の将来像」について | | |
| | BCPの観点から、自立分散型エネルギーの確保が進み、発災時でも事業継続できる拠点の形成について、記載を充実してほしい。 | 中枢広域拠点域 (P.157) など |
| | 月島のように風情のある下町は、若い人にも人気があり、観光地としての魅力にもなっている。将来、どのような街になっているのか記載してほしい。 | 中枢広域拠点域 (P.161) |
| | 拠点や地域ごとに将来像の一端を示しているが、それぞれの拠点や地域が有する特色について、記載を充実してほしい。 | 中枢広域拠点域、 新都市生活創造域、 多摩広域拠点域、 自然環境共生域 |
| | 記載されている拠点や地域以外にも、個性や魅力のある地域があるので、それらについても記載してほしい。 | |

| 意見・アイデアの概要 | 計画への反映箇所 |
|--|-------------------------------|
| 第7章「2040年代の将来像の実現に向けて」について | |
| 都が広域的な自治体として、各自治体間の調整を図りランドデザインの実現に向けた各種計画・方針等を策定してほしい。 | 計画や方針の策定による政策誘導型の都市づくり(P.184) |
| 「計画や方針の策定による政策誘導型の都市づくり」(素案P.145)で街区再編まちづくり制度の改定について記述してほしい。 | |

○その他の意見等

| 意見・アイデアの概要 |
|---|
| ランドデザインの内容について、若者や中学生、高校生にも理解しやすい表現、キャッチフレーズ、周知を検討し、中高生にも共有してほしい。 |
| 冊子にする際にはデザインにも気を配ってほしい。 |

都立高校・特別支援学校高等部の生徒からの意見・アイデアのご紹介

〈意見・アイデアの例〉

- ・電車の窓ガラスが液晶画面のようになり、必要な情報が映し出せると良い。
- ・公園でウェディングなどの企画が出来るようになると面白い。
- ・一つの団地に保育所や職場、高齢者向けの施設がまとまっていたら便利。
- ・高齢者や障害者、子どもがケガしないよう床や壁を柔らかい素材にすべき。
- ・新しいものだけでなく、今あるストックも生かしていくべき。

また、都市づくりのランドデザインのキャッチフレーズを、
高校生の皆様からの提案*等を元に「東京の未来を創ろう」に決定しました。

〈頂いた提案の例〉

「東京の未来、考え始めました。」「私達の未来を守るために」
「未来に繋がるまちづくりを」「みんなでつくる、みんなの東京」
「We can make a globality future by ourselves!」
「育つ東京、育てる東京」

*パブリックコメント、出前授業による提案数 185 件

〈都立三田高等学校〉
(平成29年6月15日実施)



〈都立多摩科学技術高等学校〉
(平成29年6月13日実施)



出前授業では上記のものをはじめ、たくさんの意見・アイデアを頂きました。
ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

検討の経緯

| | |
|-----------------------------|--|
| 平成27年 9月 2日 | <p>第210回東京都都市計画審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知事が「2040年代の東京の都市像とその実現に向けた道筋について」を東京都都市計画審議会に諮問 ○東京都都市計画審議会に都市づくり調査特別委員会を設置 |
| 平成27年 9月 9日～ 平成28年 4月22日 | <p>都市づくり調査特別委員会(第1回～第5回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○諮問事項について専門的な見地から集中的に調査・検討を実施 ・平成27年 9月 9日 東京の都市づくりの変遷等について ・ 10月19日 目指すべき都市像について ・ 12月18日 将来に向けた都市づくりの考え方について ・平成28年 1月26日 都市像の実現に向けた取組について ・ 4月22日 答申の中間のまとめ(案)について |
| 平成28年 5月18日 | <p>第213回東京都都市計画審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市づくり調査特別委員会が「2040年代の東京の都市像とその実現に向けた道筋について」(答申の中間のまとめ案)を東京都都市計画審議会に報告・審議 <p>「答申の中間のまとめ」を公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ○パブリックコメントを実施(平成28年5月18日から6月16日まで) |
| 平成28年 7月11日～ 8月16日 | <p>都市づくり調査特別委員会(第6回、第7回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年 7月11日 答申(素案)について ・ 8月16日 答申(案)について |
| 平成28年 9月 2日 | <p>第214回東京都都市計画審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京都都市計画審議会は知事へ「2040年代の東京の都市像とその実現に向けた道筋について」を答申 |
| | <p>行政計画の策定検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○検討体制として、局内に「行政計画検討委員会」、庁内に「庁内検討委員会」を設置 ・平成28年10月 7日 行政計画検討委員会(第1回) 将来イメージ(都市の姿・人々の活動)について ・ 11月30日 行政計画検討委員会(第2回) 都市像(テーマ別・地域別)について ・平成29年 1月31日 行政計画検討委員会(第3回) 都市づくりの具体的な取組について ・ 3月17日 行政計画検討委員会(第4回) ・ 3月29日 庁内検討委員会(第1回) 「都市づくりのランドデザイン(たたき台)」について ・ 4月21日 行政計画検討委員会(第5回) ・ 5月11日 庁内検討委員会(第2回) 「都市づくりのランドデザイン(素案)」について |
| 平成29年 5月19日 | <p>「都市づくりのランドデザイン(素案)」を公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントによる意見募集(平成29年5月19日から6月19日まで) ・区市町村への意見照会(平成29年5月19日から6月19日まで) ・都立高校への出前授業等(平成29年5月25日から6月16日まで) |
| | <p>行政計画の策定検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年 7月 5日 行政計画検討委員会(第6回) ・ 7月28日 庁内検討委員会(第3回) 「都市づくりのランドデザイン(案)」について |
| 平成29年 9月 1日 | <p>「都市づくりのランドデザイン」を公表</p> |